科目名	ラジオ実習Ⅰ			担当講師	八幡淳
講師実務経験	FM NORTH WAVE、AIR-G'、HBCラジオ、STVラジオでパーソナリティ、コミュニティFM（エフエムアップル、FMおたる）での番組制作				
対象学年	1　学年	対象コース	スタジオサウンドコース /総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	・ラジオとは？の理解を深め、制作の意図を知る。制作の意図を理解した上で、基礎力アップ を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日	ラジオとは？：公共性を学ぶ
2	4月28日	ラジオの存在意義：有益な番組作りとは？
3	5月12日	各機材の役割と使用方法。基準の取り方。
4	5月19日	番組制作および番組収録と検聴
5	5月26日	伝えるとは？Ⅰ：番組の企画書・キューシートの役割
6	6月9日	企画書を基にした番組制作
7	6月16日	制作した番組の収録と検聴
8	6月23日	伝えるとは？Ⅱ：起承転結
9	6月30日	起承転結を意識した番組制作
10	7月7日	制作した番組の収録と検聴
11	7月14日	伝えるとは？Ⅲ：事象の理解力を深める
12	7月28日	事象の理解を深めた上での番組制作
13	8月18日	制作した番組の収録と検聴
14	8月25日	後期へ向けて・・
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	42時間中　15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	MA実習Ⅰ			担当講師	田苅子　和之
講師実務経験	音楽・番組制作会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	演習
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	MAの概要を学習し、ビデオ制作における音声編集の基礎的な知識と技術を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日	授業ガイダンス／MAの概要・基礎的な知識・技術（1）
2	4月28日	MAの概要・基礎的な知識・技術（2）／作業準備（1）
3	5月12日	MAの概要・基礎的な知識・技術（3）／作業準備（2）
4	5月19日	ナレーション・アフレコの収録／音楽・効果音の仕込み（1）
5	5月26日	ナレーション・アフレコの収録／音楽・効果音の仕込み（2）
6	6月9日	ナレーション・アフレコの収録／音楽・効果音の仕込み（3）
7	6月16日	ナレーション・アフレコの収録／音楽・効果音の仕込み（4）
8	6月23日	ナレーション・アフレコの収録／音楽・効果音の仕込み（5）
9	6月30日	音声編集（1）／音楽・効果音の仕込み（6）
10	7月7日	音声編集（2）／音楽・効果音の仕込み（7）
11	7月14日	音声編集（3）／実技習得度判定試験復習
12	7月28日	実技習得度判定試験
13	8月18日	音声編集（4）／音楽・効果音の仕込み（8）
14	8月25日	定期試験対策／まとめ
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	42時間中　15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	イベント概論			担当講師	横山　聡史
講師実務経験	広告代理店勤務を経てWEB企画制作会社設立。現在フリーのディレクター／プロデューサー				
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース/サウンドステージコース/ライティングコース/ビジュアルクリエイトコース/スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	イベントの知識と各スタッフの役割、企画・運営等の基礎を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	オリエンテーション／目標設定と様々なものに関心や興味を持つことの大切さについて
2	4月22日	イベントとは何か／イベントの定義と一般的な運営組織図
3	5月13日	イベントに関わるセクション／　1回目（ディレクター）
4	5月20日	イベントに関わるセクション／　2回目（PA・レコーディング）
5	5月27日	イベントに関わるセクション／　3回目（照明・映像）
6	6月10日	イベントに関わるセクション／　4回目（プロデューサー）
7	6月17日	イベントに関わるセクション／　5回目（主催者、後援、協力、協賛）
8	6月24日	イベントに関わるセクション／　6回目（MC）
9	7月8日	イベントに関わるセクション／　7回目（会場選定の条件、会場との折衝）
10	7月15日	イベントに関わるセクション／　8回目（イベントの広報）
11	7月22日	イベントに関わるセクション／　9回目（メディアとインターネット、各種SNS）
12	7月29日	イベントに関わるセクション／　10回目（メディアとインターネット、各種SNS）
13	8月19日	イベントに関わる心得／最低限必要な心得、プライオリティ
14	8月26日	総まとめ・テスト対策
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	14時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	電気基礎			担当講師	鈴木　雅光
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース/サウンドステージコース/ライティングコース/ビジュアルクリエイトコース/スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	電気の基礎及び電気を安全に取扱するための知識を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	授業ガイダンス
2	4月22日	基礎的な電気について　電流・電圧・抵抗
3	5月13日	直流と交流とオームの法則について
4	5月20日	直列・並列及び合成抵抗について
5	5月27日	単相2線式、周波数、実効値について
6	6月10日	電気容量計算、ジュールの法則について
7	6月17日	リアクタンス、インピーダンスについて
8	6月24日	有効電力、無効電力、皮相電力、力率について
9	7月8日	単相交流と三相交流について
10	7月15日	スター結線、デルタ結線について
11	7月22日	ランプ及びケーブルの種類、電線の許容電流、電気の安全な取り扱い
12	7月29日	電圧降下・電力損失、発電機からの電源
13	8月19日	複線図の書き方
14	8月26日	定期試験対策
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	14時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	安全概論			担当講師	久本　晃三
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース/サウンドステージコース/ライティングコース/ビジュアルクリエイトコース/スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	様々な作業に潜む危険を予測できるようになり、安全への意識を高め日本舞台技術安全協会の定める安全基準を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	授業ガイダンス
2	4月22日	安全衛生管理の基本を学ぶ
3	5月13日	現場における、事故事例の紹介（1）
4	5月20日	現場における、事故事例の紹介（2）
5	5月27日	作業に適した服装（靴、グローブ、衣服等）
6	6月10日	ヘルメット
7	6月17日	ラッシングベルト
8	6月24日	機材の運搬
9	7月8日	安全帯
10	7月15日	健康管理と日常生活他
11	7月22日	火気の使用他
12	7月29日	精神的な注意事項他
13	8月19日	始業時の打ち合わせ他
14	8月26日	落下、飛来落下、転倒、倒壊など危険を伴う作業他、定期試験対策
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	14時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	音楽基礎			担当講師	小島快之
講師実務経験	アーティスト				
対象学年	1　学年	対象コース	スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	後期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
後期	音楽の基礎を通して、楽譜の進行を読み取れるよう修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	授業ガイダンス、音楽の3要素・五線・小節線・音部記号・幹音
2	4月22日	音符と休符及び付点音符と付点休符について
3	5月13日	前回の音符・休符の種類の復習及び練習問題、譜面の種類
4	5月20日	小節と拍子。拍の強弱・アウフタクト・シンコペーション等について
5	5月27日	音の表現、楽器の大別・弦楽器・管楽器・打楽器・鍵盤楽器の種類及び合奏形態について
6	6月10日	12平均律。変化記号の種類及び用途と、異名同音について
7	6月17日	スケールについて①
8	6月24日	スケールについて②
9	7月8日	調号、平行調、同主調について
10	7月15日	調号から主音を見つけだす
11	7月22日	音の幅、音の調和、ダイアトニックコートについて
12	7月29日	10コード、五度圏について
13	8月19日	演奏順序の記号の種類及び用途について
14	8月26日	試験対策
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	14時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	SR技術概論Ⅰ	担当講師	森本　信
講師実務経験	レコーディングエンジニア・サウンドデザイナー・ミュージックディレクタープロダクション＆アーティストマネージメントほか		

対象学年	1	学年	対象コース	スタジオサウンドコース/作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	14	回	1回あたりの授業時間	90　分

期	修　得　目　標
前期	スタジオ録音・音楽業界のシステムを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	オリエンテーション（講義内容進行について・音楽の楽しさについて）
2	4月22日	なぜ音響を学ぶのか、音響物理と楽音におけるを『音』を考えてみる
3	5月13日	音響技術に関わる最低限の知識とは、何を学ぶか、またその学び方とは以下、JAPRSサウンドレコディング技術概論を教科書とし講義進行する
4	5月20日	音響物理の基礎（音波、聴覚、など）
5	5月27日	音響物理の基礎（尺度、decibelなど）
6	6月10日	音響物理の基礎（波長、振動数、音律、特性など）
7	6月17日	電気音響の基礎（直流回路、交流回路、電気磁気、オームの法則など）
8	6月24日	電気音響の基礎（電子回路、トランス、インピーダンス、ダンピングなど）
9	7月8日	音響機材やシステムについて（種類や目的、マイクやミキサーについて）
10	7月15日	音響機材やシステムについて（種類や目的、マイクやミキサーについて）
11	7月22日	音響機材やシステムについて（録音スタジオやステージのシステム）
12	7月29日	音響機材やシステムについて（アコースティック音響、収音技法）
13	8月19日	前期のまとめ、試験対策
14	8月26日	試験対策、模擬テストなど
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	28時間中　10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ProTools実習Ⅰ			担当講師	金沢　琢司
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	スタジオサウンドコース/作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	基本的な操作、概念を学びProToolsの基本技術を修得する

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月16日	ProToolsとは：音響の場でのProToolsの優位性
2	4月23日	編集ウィンドウの概要
3	4月30日	ミックスウィンドウの概要
4	5月14日	編集ツールの概要：クリップの編集
5	5月21日	プラグインインサートの概要①：種類・使い方
6	5月28日	プラグインインサートの概要②：種類・使い方
7	6月11日	各設定①：プレイバックエンジン・H/Wバッファサイズ・
8	6月18日	各設定②：I/O設定
9	6月25日	各設定③：タイムライン設定、時間軸の理解
10	7月9日	メモリーロケーション機能の理解
11	7月23日	デモ音源を使っての編集作業練習①
12	7月30日	デモ音源を使っての編集作業練習②
13	8月20日	デモ音源を使ってのミックス作業練習①
14	8月27日	デモ音源を使ってのミックス作業練習②
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	42時間中　15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	REC実習Ⅰ			担当講師	金沢　琢司
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	20　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	主としてスタジオ機器の基本操作を学び、音響分野への技術を修得する

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月16日	スタジオ構造・機材の説明
2	4月23日	マイク実習①マイクロフォンの種類と特性、構造の理解
3	4月30日	マイク実習②マイクロフォンの種類と特性、構造の理解
4	5月14日	スピーカーの種類と特性、構造の理解
5	5月21日	スタジオシステム①コンソールの基本1
6	5月28日	スタジオシステム②コンソールの基本2
7	6月11日	スタジオシステム③コンソールの基本3
8	6月18日	スタジオシステム④コンソールの基本4
9	6月25日	スタジオシステム⑤ProToolsの基本1
10	7月4日	スタジオシステム⑤ProToolsの基本2
11	7月9日	録音実習①:ドラムのマイクセット
12	7月11日	録音実習②:ドラムのマイクセット
13	7月18日	録音実習③:ベースのマイクセット
14	7月23日	録音実習④:ギターのマイクセット
15	7月25日	録音実習⑤:バンド録音のマイクセット
16	7月30日	バンド録音実習①:マイクセット～ProTools立ち上げ
17	8月20日	バンド録音実習②:マイクセット～ProTools立ち上げ
18	8月22日	バンド録音実習③:ProToolsオペレート
19	8月27日	ミックス実習①:SSLによるデモ音源ミックス
20	8月29日	ミックス実習①:SSLによるデモ音源ミックス

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)
	成績評価方法:B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にて配布
注意事項	60時間中　21時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)

科目名	ペン字講座			担当講師	西山　香
講師実務経験	書道教室講師				
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース/サウンドステージコース/ライティングコース/ビジュアルクリエイトコース/スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	演習
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	履歴書作成と社会人生活に向けたきれいで美しい字の書き方を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	履歴書下書き
2	4月24日	ひらかな
3	5月8日	カタカナ
4	5月15日	漢字（横書・熟語）
5	5月22日	横書き文章
6	6月12日	札幌市・区名
7	6月19日	常用漢字付表①
8	6月26日	常用漢字付表②
9	7月10日	試験
10	7月17日	履歴書①
11	7月24日	履歴書②
12	8月21日	履歴書③
13	8月28日	履歴書④
14		
15		

評価方法	3分の2以上の出席で修得済評価
評価	評価 修得済
テキスト	プリント配布
注意事項	13時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	舞台論			担当講師	笹出　将太
講師実務経験	照明デザイナー、オペレーター、舞台監督				
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース/サウンドステージコース/ライティングコース/ビジュアルクリエイトコース/スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	劇場の歴史や舞台の基本的な知識および設備について修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	授業ガイダンス、
2	4月24日	西洋の上演芸術や劇場史について
3	5月8日	日本の上演芸術や劇場史について
4	5月15日	舞台の基本、平面・断面・寸法について
5	5月22日	幕類用吊物設備について
6	6月12日	照明用吊物設備について
7	6月19日	大道具用および音響反射板・スクリーンなどの吊物設備について
8	6月26日	舞台の床機構について
9	7月10日	舞台の照明設備について
10	7月17日	幕類・照明に関する専門用語について
11	7月24日	公演・舞台、機構・道具に関する専門用語について
12	8月21日	スタッフの種類と役割について
13	8月28日	安全管理および労働災害防止について/前期の総括および試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	13時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	就職ガイダンス			担当講師	一岡　永
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	コンサート制作・マネージャーコース/サウンドステージコース/ライティングコース/ビジュアルクリエイトコース/スタジオサウンドコース/総合	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	就職活動を自発的に進めるための基礎知識を修得する

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	授業オリエンテーション、業界実習の説明
2	4月24日	働くという事について
3	5月8日	音楽放送業界の職業紹介
4	5月15日	基本的な就職活動の流れ
5	5月22日	自己分析と志望動機
6	6月12日	文章の作成方法について
7	6月19日	過去求人の紹介
8	6月26日	自己PR文章の作成について
9	7月10日	業界が求める人物像について
10	7月17日	就職支援サイトの説明/求人票の見方
11	7月24日	自由応募求人と学校推薦求人について
12	8月21日	志望動機の作成について
13	8月28日	就職活動計画の作成
14		
15		

評価方法	3分の2以上の出席で修得済評価
評価	評価 修得済
テキスト	就職便覧、プリント配布
注意事項	13時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	DTM実習Ⅰ			担当講師	作山厚
講師実務経験	DTM講師経験				
対象学年	1　学年	対象コース	スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	DAW（Cubase）の基本操作、楽曲の構成、音色の仕組みを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	授業ガイダンス / Cubaseの基本操作1
2	4月24日	Cubaseの基本操作2
3	5月8日	ドラムの打ち込み1
4	5月15日	ドラムの打ち込み2
5	5月22日	ベースの打ち込み1
6	6月12日	ベースの打ち込み2
7	6月19日	キーボードの打ち込み1
8	6月26日	キーボードの打ち込み2
9	7月10日	ギターの打ち込み1
10	7月17日	ギターの打ち込み2
11	7月24日	ボーカロイドの打ち込み1
12	8月21日	ボーカロイドの打ち込み2
13	8月28日	定期試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	39時間中　14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	PA実習			担当講師	久本　晃三
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	PAという仕事を理解し、マイクケーブル、マイクスタンドの基本的な取り扱い を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	オリエンテーション、ケーブル巻き
2	5月16日 5月23日 6月13日	PAセクションの仕事の概要説明、ケーブル巻き、マイク、マイクスタンドの取り扱い
3	6月20日 6月27日	PAセットを組んで音を出してみる。
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	REC実習			担当講師	金沢　琢司
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	授業選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	レコーディングスタジオの基本を修得

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	スタジオワークの紹介
2	5月16日 5月23日 6月13日	マイクセッテイング（ドラムセット）
3	6月20日 6月27日	ミックス素材を使ってのデモミックス
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	各回授業にて配布
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	照明実習			担当講師	鈴木　雅光
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	授業選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	『照明』とは、どのような仕事かを知り、自分が目指す職種との関わりを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	授業ガイダンス。照明の役割と、音楽と照明について
2	5月16日 5月23日 6月13日	仕込みからシュートまでについて
3	6月20日 6月27日	オペレートについて
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	テレビ番組制作			担当講師	田端　優一
講師実務経験	放送局関連会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	番組制作の流れとスタッフの役割を理解し、基礎的な知識と技術を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	授業ガイダンス～番組制作の現場について
2	5月16日 5月23日 6月13日	テレビスタジオ、副調整室の仕組みや機材全般の取り扱い方について
3	6月20日 6月27日	テレビスタジオで番組の収録を行う
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	授業にて資料配布
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	文書デザイン			担当講師	近藤　直美
講師実務経験	パソコントレーナー歴28年				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	Wordの有効な利用を通して、文書デザイン能力を取得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	授業ガイダンス、PC操作、キーボード入力練習、ワードの基本的な操作、文書作成
2	5月16日 5月23日 6月13日	Wordによるビジネス文書・デザイン文書の作成 ビジネス文書の決まりを学ぶ。 文字装飾、表や図の挿入を学ぶ。
3	6月20日 6月27日	Wordによるデザイン文書の作成 Wordの様々な機能を生かした、デザイン文書の作成を学ぶ。
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ヴォーカル実習（選択）			担当講師	宍戸美鈴
講師実務経験	シンガーソングライター				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	発声法基礎と歌唱法を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	発声法基礎（高音域・低音・中音域）　歌唱法（ミックスボイス）
2	5月16日 5月23日 6月13日	発声法基礎（高音域・低音・中音域）　歌唱法（ビブラート）
3	6月20日 6月27日	発声法基礎（高音域・低音・中音域・鼻腔共鳴）
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ギター実習（選択）			担当講師	小松　チホコ	
講師実務経験	箱バンでのギター演奏９年、自身のバンド活動約15年					
対象学年	1　学年	対象コース	選択者		授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間		135　分

期	修　得　目　標
前期	ギター演奏の基本技術と知識を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	実習内容について説明、セットアップ、基本エクササイズ
2	5月16日 5月23日 6月13日	オープンコード、コードの応用、シンプルな課題曲
3	6月20日 6月27日	ブルースフォームでの様々な演奏スタイル
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ベース実習（選択）			担当講師	木村　圭子
講師実務経験	ベーシスト				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	ベースの役割を学び、基礎スキルを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	BASSという楽器について（基本フォーム・運指トレーニング）
2	5月16日 5月23日 6月13日	2finger奏法基礎　8feel groove　課題曲
3	6月20日 6月27日	Slap奏法基礎　16feel feel groove 課題曲
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ドラム実習（選択）			担当講師	岸林　大輔
講師実務経験	演奏家、ヤマハ、三響、ミツノ講師				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	Dr,Set,及びリズムの基礎を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	Stick Control&Foot リズムスタイル
2	5月16日 5月23日 6月13日	リズムスタイル#2、Fill-In
3	6月20日 6月27日	リズムスタイル#3、エチュード、まとめ
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	DTM実習（選択）			担当講師	中村　未央
講師実務経験	DTM講師経験				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	基本的な打ち込み技術を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	Cubaseの基本操作1
2	5月16日 5月23日 6月13日	Cubaseの基本操作2
3	6月20日 6月27日	Cubaseの基本操作3
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）